

私学協会長賞

水と生きる

浜松市立東小学校

三年 縣 さん

わたしは、この春からエコパ自然塾で木や虫のことをべんきょうしています。第一回目は雨だったので、山に雨がふるとどうなるかについても教えてもらいました。水はどこからきてどこに行くのかきょうみがあったので、自然の中の水じゅんかんについてくわしくしらべてみました。この作文では、水はどのようににじゅんかんしているか、わたしたちはその中でどう生きるべきかについて、しらべたこと、考えたことを書いてみます。

水じゅんかんの始まりは雨です。山に雲がかかると、雨がふり始めます。雨は植物を育てます。育った植物は虫を育て、虫は動物を育てます。地面にしみこんだ水は川となり、魚を育てます。川は海に流れこみ、さらにたくさん生き物を育てます。水じゅんかんのさいごは海です。海に集まった水は、太陽にあたためられ雲になります。雲はまた雨をふらせ、じゅんかんはつづいていきます。地球の生き物は全て、この水じゅんかんの中で生きています。

人間が、かいてきにくらすには、いつでも水がひつようです。そこで、水じゅんかんの一部を利用して水道と下水道をつくりました。水道はいつでもきれいな水を手に入れるため、下水道は使った水を流すためです。

浜松の水道水は、天りゆうからとった水を浄水場できれいにしたものです。天りゆうの水はもともときれいなので、

浜松の水道水はとてもおいしいです。じゃ口をひねるといつでも出るので、むげんにあるような気がしますが、水はかぎりあるしげんです。むだづかいしたらなくなってしまうし、水源をよごしたら使えなくなってしまう。水道は出しっぱなしにしない、山や川にごみをすてないことが、水じゅんかんを守るためにもとても大切です。

浜松の下水道は浜名湖を守っています。生活で使用した水はよごれているので、そのままでは川に流せません。下水道は、よごれた水を集めて浄化センターできれいにしてくれます。きれいになった水はまた川にもどすことができます。水はじゅんかんしていきます。だから、下水道を正しく使うことはとても大切です。油を流さない。せんざいをたくさん使用しない。トイレにトイレットペーパー以外のものを流さない。下水をつまらせないことが水じゅんかんを守ります。

地球は水のわく星です。宇宙から見た地球はとても美しいです。この地球を守るためには、わたしたち一人一人が自然を大切にし、水のじゅんかんを守っていくことがとても大切です。